



# MACHI JACK

6月より、全国に先駆け、埼玉で、インバウンド・地方創生サービス「街ジャック」を展開開始。行政も、撮影希望店も、費用無料で実施できて、IT 弱者を救うスキームも持ち合わせている。



2018年6月1日

FOSCHIA JAPAN 株式会社（フォスキアジャパン）

今後、全国の都道府県での導入を目指す「街ジャック」！

Google ストリートビュー（店内版：通常有償100,000 円程度）を、  
都道府県主導で、観光協会、商工会議所などの会員向けに提供する。

行政も、各種団体も、撮影を希望する店舗も、全て費用が掛からない  
最強のインバウンド・地方創生サービス。

IT 弱者の方もネットに専用ページができ、Google 検索、Google マップでも  
結果に表示されるようになり、無縁だったネットからの集客を期待できる。

[FOSCHIA JAPAN](#) の主力製品、「街ジャック」は、京都、大阪、金沢での  
実験的な導入に成功し、都道府県単位でのサービスを開始した。

「[街ジャック](#)」とは、任意の地域を丸ごと見える化させるため、希望店の Google ストリートビュー（店内版）を撮影し、インターネット上へ、公開するサービス。

これにより、街全体をモール化することで、面での集客を目指す。

インバウンド サービスとして、外国人がお店に入る前に、インスタ映えできるかなど比較検討ができるというコンセプトがあったのだが、IT 弱者を救済するサービスとしても注目されている。

どんなに IT に弱い事業主でも、Google ストリートビューを撮影するだけで、Google 検索や Google マップなどで表示され、来店を促すことができる。

地元のおいしい昔ながらのラーメン店や居酒屋などで、IT に関する知識がなくとも、Google ストリートビュー（店内版）さえ撮影してもらえば、ネットでの集客が見込まれるようになる。これは訪日客のみならず、国内のユーザーも同じだ。

全国に先駆けて、埼玉で2018年6月より随時スタートをする。およそ、3カ月間をかけて各希望店を周り、1軒、1軒撮影に伺う。

その後は、栃木県、福島県での導入が決まっているため、今年の秋口から、来年にかけて撮影する。

現在、交渉中の都道府県が動くとなると、来年度中に、スタッフを大幅増員して、全ての都道府県を撮影し、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのインバウンド 需要に間に合わせる。

注目の費用は、行政にも関連団体にも撮影希望店にも掛からない点である。

これを実現するため、スポンサーやマーケティングといった活動を元に、サービス提供会社は、マネタイズを図る。